

長崎県西海市江島沖における協議会（第4回）

○日時

令和6年11月22日（金）14時30分～16時00分

○場所

オリーブベイホテル「牡丹」（WEB会議を併用）

○参加者（※はWEB参加者を示す）

（構成員）

経済産業省 資源エネルギー庁

新エネルギー課 風力政策室 室長

古川 雄一

国土交通省 港湾局 海洋・環境課

海洋利用調査センター 所長

佐渡 英樹

農林水産省 水産庁

資源管理部 管理調整課 計画官

森田 浩史※

長崎県 産業労働部 部長

宮地 智弘

西海市 市長

杉澤 泰彦

西海大崎漁業協同組合（江島漁業権管理委員会）

理事（会長）

柏木 世次

西海大崎漁業協同組合 代表理事組合長

梅川 恒義

大瀬戸町漁業協同組合 代表理事組合長

本木 隆光

西彼海区漁業協同組合長会 会長

柏木 俊彦

（欠席）

長崎県旋網漁業協同組合 専務理事

渡邊 孝裕

崎戸商船株式会社 代表取締役

木原 廣道

NTTワールドエンジニアリングマリナ株式会社

マリナオペレーション部 担当課長

田島 泰士

九州電力送配電株式会社

五島配電事業所 所長

草野 剛志※

長崎総合科学大学 名誉教授・特命教授

池上 国広

東京海洋大学 名誉教授

松山 優治

神奈川大学 海とみなと研究所 上席研究員

中原 裕幸

みらいえのしま合同会社

代表社員 職務執行者 社長

島田 茂東

(オブザーバー)

環境省 大臣官房 環境影響評価課
環境影響審査室 室長補佐

鈴木 祐介※

○議題

- (1) 本協議会の運営について
- (2) 事務局及び選定事業者説明

○議事概要

- (1) 本協議会の運営について

- 経済産業省（事務局）より、資料3（長崎県西海市沖における協議会運営規程の改正案）を説明。
- 構成員による推挙により、座長を長崎総合科学大学池上構成員、座長からの指名により、副座長を東京海洋大学松山構成員と選任された。
- 協議会運営規程について、**案の通り YouTube 承認された。**
- 座長より、協議会の公開の方法について、議事要旨及び議事録の公表及び一般傍聴や報道関係者の傍聴を認めることを前提に、次回以降の協議会は YouTube による配信は行わないことについて提案された。

- (2) 事務局及び選定事業者説明

- 経済産業省（事務局）より、資料4（長崎県西海市江島沖におけるこれまでの経緯と今後のプロセス）を説明。
- みらいえのしま合同会社より、資料5（長崎県西海市江島沖洋上風力発電事業概要説明）を説明。

西海市

- これまで協議会において述べてきた、環境への配慮、漁業・江島との共存共栄の重要性について、協議会意見とりまとめに反映いただき感謝。
- 事業者についても、地元への事務所建設や地元に対する丁寧な説

コメントの追加 [柳1]: 西海第3回の形式をみたところこのようになっていましたが、北海道では議題を書いていないため、要否はわかりません

コメントの追加 [柳2]: 北海道では「議題」となっていますが、西海第3回を見ると「議事概要」が正かしれません…

コメントの追加 [柳3]: 議題1のところでは異議はでないで、議題（1）の記載はここで締め、関連し得るコメントは（2）以降に移しています。

明、島・地域・漁業振興への寄与に関する力強い言及に感謝。

- 西海市としては、当事業を地元と企業の大きなビジネスチャンスと捉えており、新産業の創造、地域の活性化、特に事業の中心となる江島の漁業・地域の持続化・活性化に期待をしている。
- 事業者においては、長期的な事業であることを踏まえ、音や影など環境影響への配慮、地元や関係者との十分な対話を行っていただき、安心を担保しながら事業を進めていただきたい。
- 1日も早く江島沖で風車が回り、電力の地産地消、日本の再生可能エネルギー促進の一助となることを望んでいる。

西海大崎漁業協同組合（江島漁業権管理委員会）

- 地元として、漁業振興、江島の振興、地域の振興がしっかりとなされていることが確認できており、現時点で注文をつけることはない。今後も地元との対話を丁寧に行っていただきたい。
- 事業者は説明以上のことを種々行っており、今後も継続的に取り組むことで、江島が失っていきつつあるものを復活させていけるような指導・援助をいただきたい。

西海大崎漁業協同組合

- 事業者においては、これまで通り、西海大崎漁業協同組合と連絡を密にとり、事業を進めていただきたい。

大瀬戸町漁業協同組合

- 大瀬戸町漁業協同組合のメインはタコ漁であり、事業者からは、漁場へケーブルを引くことについて、何度も足を運んで意見を聞いてもらっている。今後タコ漁への影響有無は不透明であるが、それを承知の上で協議を行っており、このまま進めていただきたい。
- 大瀬戸町漁業協同組合では、長年にわたりタコの育てる漁業に取り組んでいるところ、漁業振興策として、タコの放流事業などへも協力いただきたい。

みらいえのしま合同会社

- 承知した、検討する。

長崎県旋網漁業協同組合

- 地域企業との共存を図り、漁業への影響が及ばないようにしっか

り説明をしていく旨聞いている。今後も工事前や工事中に何かがあればしっかりと説明をいただき、長崎県旋網漁業協同組合としても対応をしていきたい。

崎戸商船株式会社

- 風車配置について、航路の確保に向けて十分な協議を行っていたところ。
- 定期船の安全運航について、一昨年発生した知床沖の事故以来、設備・運航管理が強化されているところ、工事開始以降に航路輻輳の懸念がある。作業船等の運航計画の情報提供、崎戸商船株式会社との連絡体制の構築等、安全運航のため、航行安全委員会における協議をお願いする。

みらいえのしま合同会社

- 承知した。

N T Tワールドエンジニアリングマリン株式会社

- 既設の通信インフラについて、風車設置の関係で配慮いただき感謝。
- 今後、エクスポートケーブルの交差や設置に関して、引き続き協議をお願いしたい。

九州電力送配電株式会社

- 九州電力送電網についても、江島への海底ケーブルがあるため、工事に支障が無いよう協力していきたい。

東京海洋大学

- 工事中の濁水や騒音発生等の環境影響に配慮した計画を立て、調査を行える環境を作っていただきたい。
- 江島や平島周辺の海域は、海底地形が複雑なことから非常に良い漁場となっているものと考えており、継続的なモニタリングについても配慮いただきたい。
- 長崎大学等による既存の調査研究結果を活用し、調査検討上の参考にしていただきたい。
- 資料5 24頁の「風車ボーリング位置でのカメラ調査も実施し、漁礁に影響がないことを確認」について、説明時には「漁業」への

コメントの追加 [柳4]: 「運航」が正かと思いましたが、
で統一していますが、国交省さんにまかせます
△運行 ○運航

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/content/000330260.pdf>

影響なしとの発言であったが、「漁業」と「漁礁」のいずれが正しいのか。

みらいえのしま合同会社

- 正確には、伊勢エビへの影響有無を確認している。

長崎総合科学大学（座長）

- 東京海洋大学からの意見について、十分考慮いただきたい。

みらいえのしま合同会社

- 承知した。既存調査結果を参考にするにあたり、有識者に協力いただけるとありがたい。

西海市

- 長崎大学が行ったような、地形の漁業影響などの文献やデータを再度確認いただきたい。

神奈川大学海とみなと研究所

- 次回以降の YouTube 配信は行わないことについて、YouTube による情報提供は他区域の状況理解への活用等、YouTube 意義が非常に大きいところ、YouTube 配信がなくなることは、情報提供の観点から極めて残念。可能であれば見直しも検討いただきたい。

経済産業省（事務局）

- YouTube 配信については、感染予防の観点と公募参加事業者に向けた情報提供の観点から実施している。感染予防に関する状況の変化や、事業者採択後は協議会の役割が変わってくること、全国での協議会運営コスト等を考慮し、事業者選定後の協議会の配信については、全国共通で、議事要旨及び議事録の公開を前提とし、YouTube 配信を行わない方針としている。
- ただし、同様の意見がほかからも出うところ、いただいた意見についてはしっかり受け止めさせていただく。

神奈川大学海とみなと研究所

- 国内調達比率について、国内調達比率 60% の目標を達成できそうか、事業者としての意気込みを教えてください。

- 船舶航行の安全確保について、米国が設けているようなセーフティーゾーンについて、船舶航行安全委員会等で設定を検討していただきたい。但し、風車の周りには魚が集まることから、漁業者としてできるだけ風車の近くで操業したいとの意向もあるものと想定されるが、この点については柔軟な対応を考えればよい。
- 洗堀防止工について、大量の石材が必要であることから、石材の調達について教えていただきたい。
- 離島における洋上風力・地域振興のモデルとなるよう期待をしている。

みらいえのしま合同会社

- 国内調達比率について、為替や資機材の高騰など様々な問題もあるが、風車（海外製）以外の部分で可能な限り高めていく方向で考えている。
- セーフティーゾーンについては、米国の事例を参考にした上で検討する。
- 洗堀防止工の石材の調達については、検討中であるが、指摘の通り調達の難しさを念頭に置いた上で検討を進めていく。

神奈川大学海とみたと研究所

- 国内調達比率60%の目標について、実現が難しい面もあるが頑張っていたきたい。
- 洗堀防止工については、それ自体がミニ小型の人工魚礁になるとの観点からも頑張っていたきたい。

経済産業省（事務局）

- 国内調達比率の目標（2040年までに60%）について、国の目標ではなく、産業界において掲げている目標である点、補足をさせていただく。
- 経済産業省（事務局）より、資料6（今後の協議会の進め方（案））を説明。

神奈川大学海とみたと研究所

- 協議会の開催回数について、毎年度1回の開催とし、適宜実務者会議も開催するとのことであるが、協議会については開催間隔が空

くため、前回の議論の内容が分かるよう、協議会冒頭で議事録の配布を行っていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 前向きに検討したい。

長崎総合科学大学（座長）

- 洋上風力発電は安全が重要であるため、航行安全や発電設備の事故防止を含めた安全性評価を行っていただけたらどうか。
- 本日出た意見を考慮しながら、次回以降の協議会の進め方を検討していきたい。

以上